進路だより

２０２６．１０．１
第７５号
香川東部支援学校
進　路　指　導　部

働くということ　～それぞれの「彩り」を社会に～

校長　菊田　一之

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。2学期を迎え、校内は子供たちの元気な声と、ひたむきに学ぶ姿であふれています。

小学部、中学部、高等部と、それぞれのステージで一歩ずつ成長していく子供たち。その姿を見つめながら、私はいつも、それぞれが将来、社会の中で自分らしく生きていくために、私たちができることは何かを考えています。そこで今回は、本校で学ぶ子供たちの将来を見据え、働くことの大切な意味についてつづってみたいと思います。

皆さんは、Mr.Children の「彩り」という名曲をご存知でしょうか。その歌詞には、日々の生活や仕事に向き合う上で、とても大切な本質を教えてくれる素敵なフレーズがあります。

『*僕のした単純作業が　この世界を回り回って　まだ出会ったこともない人の　笑い声を作ってゆく*』

このフレーズは、まさに本校の子供たちの日常そのものであり、これからの歩みに深く重なり合うものです。中学部、高等部で働く力をつけるために取り組む作業学習。そこで行われる一つひとつの作業は、周りから見れば、ともすれば単調で地味なものかもしれません。しかし、それは決してただの作業ではないのです。そして、これは中学部、高等部だけの話ではありません。小学部での日々の係活動、身の回りの準備、毎日の丁寧な掃除、そして元気な挨拶。これらすべてが、将来の「働く」という自立の姿へと真っ直ぐに繋がっています。子供たちが心を込めて作った製品や育てた作物、きれいに雑巾がけをした床、そして周囲を明るい気持ちにさせる挨拶。それらは一見、当たり前のことのようですが、その『*なんてことのない作業が　回り回り回り回って　今　僕の目の前の人の　笑い顔を作ってゆく*』のです。学校や地域で、本校の子供たちのひたむきな姿や笑顔に触れた人が、ふと優しい気持ちになる。そして、その優しい気持ちが広がっていく。これこそが、すでに子供たちが日常の中で周囲や社会に温かい彩りを添えている証なのです。

なので私はこう思います。働くとは、ただ生計を立てるため、お金を稼ぐためだけのものではないと。もちろん、生活を支えることは大切ですが、その本質は自分の存在や行動が、誰かの役に立っていると実感することなのではないかと。たとえ目立たなくても、『*誰が褒めるでもないけど　小さなプライドをこの胸に　勲章みたいに付けて*』、自分の力で誰かを笑顔に、そして幸せにし、社会の中に大切な自分の居場所を見つけていくことなのではないだろうかと。

子供たちの可能性は無限大です。日々の学びを積み重ね、将来それぞれの場所で、自分だけの温かく素敵な彩りを社会に添えていけるよう、私たちは信じて支え続ける必要があります。そのために、これからも学校と家庭がしっかりと手を取り合い、子供たちの「できた！」という達成感を共有しながら、一人ひとりの歩みを大切に育んでいきましょう。今後とも、本校の進路指導、そして教育活動への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

小　学　部

小学部では、低学年の１年生から、将来の生活につながる力を毎日の学校生活を通して少しずつ身に付けています。着替えや自分の荷物の片付けなど一人でできることを少しずつ増やすとともに、係活動でその日の時間割や日付を並べかえる、健康観察カードを保健室に届ける、給食の献立をボードに貼るなどしています。一人一人が役割を担い、学級という集団のなかで責任をもって活動する場面を設けています。

一人一人の「できた」という経験を大切にしながら、小学部低学年のうちから発達段階に応じて、将来の自立や社会参加につながる力を伸ばしていきます。







中　学　部

前期作業週間：６月１５日（月）～１９日（金）



「**園芸班**」では、作物の種や苗を植える以外に、土づくりや草抜き、水やり、収穫や販売など、いろいろな作業に取り組みました。今年は晴れの日が多く作業が大変でしたが、熱中症に気を付けながら、みんなで一生懸命取り組み、野菜を収穫し販売することができました。



「**受注班**」では、ペットボトルつぶしやラベルはがし、ボトルやキャップの洗浄・分別、ベルマークの仕分け等の作業を分担して取り組みました。どの生徒も時間いっぱい丁寧に作業をする意識をもち、目標達成に向けて努力することができました。給食の配膳や下膳の仕事も頑張ることができました。

「**紙加工班**」では、様々な作業内容（牛乳パック切り、ラミネートはがし、紙ちぎり、ミキサーかけ、紙すき、プレスなど）を役割分担して、各自が目標を意識しながら時間いっぱい取り組むことができました。返事や報告等の言葉遣いも、姿勢や視線に留意して、丁寧に伝えることができました。



「**手芸班**」では、若竹祭での販売に向けて羊毛をニードルで刺してハートや丸の形を作ったり、アイロンビーズでキウイやいちごを作ったりしました。ラッピング用の袋のラベル貼りなどの作業にも取り組みました。決められた作業に一生懸命取り組むことができました。



高　等　部

１年　前期校内実習

高等部１年生は、６月１０日（水）から２３日（火）までの１０日間、「挑戦」を合言葉に校内実習を行いました。

初めて経験する長時間の継続した作業体験。初めて経験する作業内容もありました。

ボールペンの組立て、分解作業では、毎回「前回よりも多く」と目標をもって取り組み、出来高を意識しながら自分の限界にチャレンジしました。長時間の立ち作業で疲れを感じながらも粘り強く取り組むことができました。

陶芸や園芸の作業では、自分に与えられた役割を果たそうと最後まで取り組むことができました。外部の業者からの受注作業でも失敗が許されないという緊張感の中で、自分に与えられた作業を丁寧にかつ素早く行うことができるようになりました。

始めは恐る恐るだった確認のための報告も、時間が経つにつれ、指導者がどこにいても聞こえるはっきりとした声でできるようになりました。生徒一人ひとりの良さがよく見えた実習となりました。また、各自の課題も明らかになったと思います。次回の実習では課題を克服しつつ、自分の良いところをさらに伸ばしていってほしいと思います。







２年　前期現場実習

高等部２年生は、６月１０日（水）から２３日（火）までの１０日間、初めての現場実習を行いました。今回の実習は「挑戦」を合言葉に、これまでの学習で身に付けた力を実際の職場でどれだけ発揮できるか試す機会となりました。

現場実習前には不安な気持ちと戦いながらも、今まで学んできたことを胸に、それぞれの実習先で一人一人が一生懸命に取り組みました。思うようにいかず心が折れそうなときもありましたが、多くの方に支えられ、学校では学べない貴重な体験をすることができました。自信となったことや課題など様々なことが見付かった実習でしたが、後期現場実習でも更に成長できるように頑張りたいと思います。

株式会社　パック三樹



段ボールのバリ取り、結束をしました。

東かがわ市役所



スタンプ押し、読書手帳作りをしました。

香川大学農学部附属農場



野菜の選別、畜産の仕事をしました。

さぬき市障害福祉課

公民館のフロアや窓、部屋の掃除をしました。



のぞみ園

段ボールのバリ取りをしました。



朝日平成園

軽作業に時間いっぱい取り組みました。



３年　前期現場実習



高等部３年生は、６月８日（月）～２６日（金）までの３週間、それぞれの進路決定に向けて「一心不乱」の合言葉を胸に個別実習に臨みました。作業面や生活面で学校生活とは違った気付きやつまずきがあり、卒業後の生活についてイメージすることができたのではないかと思います。今回の実習で得られた成果と課題を、後期現場実習につなげていきたいと思います。

＜お世話になった実習先＞

就労継続支援Ｂ型

ゆうちゃん村・みきの家・すてっぷ
ワークセンターはくちょう



【農作業補助】
農作物は種類によって水やりの方法が違いましたが、一つ一つ丁寧に教えていただき、がんばりました。



【野菜の下処理、袋詰め】
ナス、じゃがいも、トマトなど収穫した野菜を丁寧に拭き取って、袋詰めからシーラーまで行いました。



【食品作業】
苦手な作業もコツをつかみ、練習してできるようにがんばりました。

就労継続支援Ａ型

ピーノ

【商品の仕分け】
他の利用者の方とペアになり、仕分けや搬出を行いました。うまく連携して進めることができました。



就労移行支援

ヒトトコ・SCC 昭和町・ジャンプ・ラ　レコルト



【パソコンデータ入力】
自分の個別課題に取り組みました。時間いっぱい集中して取り組むことができました。

一般就労

株式会社ジェイテクトメタルワークス・湊荘
ばいこう堂株式会社・株式会社レクザム
四国ハイウェイサービス株式会社
四国福山通運株式会社・四国旅客鉄道株式会社
株式会社タダノ



【研修棟の清掃】
手際良く清掃を行い、ブラシから水が垂れないようになど細やかな配慮をして取り組むことができました。

【調理補助】
包丁や調理器具の使用にも慣れ、食材の下処理や盛り付け、配膳などを正確かつ効率的にすることができました。



生活介護

いっぽ・Ｕサポート高松・スマイルハートあすみ
東香川障害者自立支援センター・サン

【U 字ボルトナット】
試行錯誤しながらも指導者に支援してもらいながら 2 つのナットを正しい位置にあわせることができるようになりました。





【資材の仕分け】
割り箸と竹串が混じる中から、割りばしを自分で見分けて回収できるように頑張りました。

進 路 指 導 部

親の会施設・事業所見学会

７月８日（水）、参加者の方々と施設・事業所見学に行ってきました。たくさんの参加希望をいただき、定員いっぱいでの開催となりました。今回は社会福祉法人 銀星の家【就労継続支援Ｂ型・生活介護】、社会福祉法人 サン【就労継続支援Ｂ型・生活介護】、障害者グループホームタイムドアやしまの３事業所を訪問しました。高等部卒業後の福祉サービスを利用した就労支援や生活支援の様子を施設・事業所の方々から丁寧に説明いただき、ゆっくりと見学することができました。参加者の皆様からもたくさんの質問が挙がり、大変有意義な見学会となりました。就労継続支援Ｂ型事業所「Café SUN 樹」（サン）の昼食も非常に好評で、見学後の感想を話題の中心にして、保護者の皆様の交流の場にもなりました。次回も奮ってご参加をお願いいたします。

がんばる卒業生紹介！



進路先でお話を聞きました

☆ 十河（そごう） 聖也（せいや） さん （令和７年度卒業生）



進路先

・株式会社千手　就労継続支援Ａ型事業所ピーノ

勤務時間や日数、休日、通勤方法

・現場での仕事１２：００～１７：００
（※遅出の際：現場での仕事１４：００～１８：００）
・土、日休
・ことでんを利用しての通勤



主な業務内容

・物流で商品の仕分け
・商品リストの確認

働き出しての気持ち

・仕事は楽しく、やりがいがあると感じている。困ったときには、職員さんに聞いて解決している。また、周りの方々も優しく、他の利用者さんともコミュニケーションが取れている。その結果、仕事の上でも困ったときには助けてくれる。

休日の過ごし方

・家事をしたり、ゲーム、ネットサーフィンをするなど家で過ごすことが多い。
時々、回転ずしやファーストフードなど外食するのが楽しみ。

後輩へのメッセージ

・仕事をする上で、体力は必要。また、言葉遣いやあいさつなど基本的なことも、働いたりコミュニケーションを取ったりする上で大切。初めはできないこともたくさんあるが、できないことにも積極的にチャレンジしていってほしい。